

Ⅷ 平成 22 年度愛知県図書館サービス計画

この計画は、愛知県図書館の基本理念に基づき、22 年度に行うサービスを示し、達成すべき数値目標を明らかにするものです。21 年度のサービス計画の達成状況を検証し、その上で 22 年度の計画を示します。

1 21 年度の図書館サービスの評価と改善すべき課題

21 年度サービス計画では、(1) 困難な経済状況の中で生活する県民が必要とする資料・情報を的確に提供する、(2) 全ての県民が図書館サービスを享受できるよう努める を基本に、重点サービスとして、県民の生活や地域の経済活動に役立つ資料・情報の提供、読書で県民生活に潤いを、市町村立図書館との連携、資料探しや調べ物がスムーズにできるような環境の整備、図書館を知っていただく活動での様々な人々と連携をあげました。その上で、①資料情報の提供、②市町村立図書館支援、③調べ物支援、④図書館を知っていただく活動、⑤全般的な満足度 を数値目標に掲げました。

①は、資料の個人利用点数の目標を達成しましたが、来館者アンケート調査（以下、「アンケート」）での「本と雑誌の量や種類」の満足度は、3.12 ポイントに留っており、重要度の 3.46 に近づけるよう一層の充実が必要と考えられます。

②では、展示用図書の設定での提供は、貸出には至りませんでしたが、作成した企画案で市町村立図書館の所蔵資料を使った 2 企画と関連の講演会が実施されました。協力貸出と県図書館を経由した借受冊数は、大きく増加し、県図書館をはじめ他館から資料を借り受けて資料を提供するシステムが、利用者の方にも周知されつつあります。

③では、人に尋ねにくい法律や医療関係を中心に、所蔵資料の紹介や情報の入手方法をまとめた調べ方ガイドを 10 点作成して、自由にお持ちいただけるようにし、また、ホームページからもご覧いただけるようにしました。レファレンス（調査相談）の利用件数も目標をクリアしました。

④は、自主企画展示にあわせて、外部との共催・協力などによる関連展示や講演会・上映会を 11 回開催し、多くの方においでいただきました。アンケートの「催し物」の満足度は、初回調査の 2.97 から 3.05 と伸び、参加された方にご満足いただいているのがうかがえます。入館者数は、前年度から減少しました。一方で貸出冊数が増えていることから、新型インフルエンザの流行のために、外出を控えられた結果とも考えられますが、利用方法に変化が生じていないかについて、今後の動向を見守る必要があります。

⑤の全般的な満足度については、アンケートでは 3.27 と目標を大きく上まわり、17 年度の 3.15 から順調に伸びています。

21 年度は、数値目標のうちいくつかは達成できませんでしたが、これまで力を注いできたレファレンスや図書館を知っていただく活動、市町村立図書館への協力貸出を始めとする貸出も順調に伸びており、図書館サービスの向上が進んでいると考えられます。

2 22 年度サービスの基本的な考え方

一昨年から続く不況は、政府がデフレを宣言するなど一層厳しさを増しており、失業率も高止まりし、新卒者の就職内定率も大きく低下しています。こうした中で、公立図書館は、地域の知の公共的基盤（インフラストラクチャー）、文化的な生活を送るための安全網（セーフティーネット）としての役割を求められます。厳しい財政状況にある市町村立図書館からは、これまで以上に県図書館に県全体の知的基盤を支える拠り所としての役割を果たすことが期待されています。

また、今年は「文字・活字文化振興法」の制定から 5 年目にあたり、国民読書年と定められています。この法律は、「文字・活字によって、人類はその英知を後世に伝えてきた。この豊穡で深遠な知的遺産を受け継ぎ、更に発展させ、心豊かな社会の実現につなげていくことは、我々の大きな責務である」（参議院決議）として制定され、「子どもの読書活動の推進に関する法律」とあわせて、読書環境の整備と活字文化の振興に向けた活動を進めるよう呼びかけています。

こうした状況を踏まえ、愛知県図書館は、市町村立図書館と連携しながら、

- (1) 県民の仕事や生活に役立つ資料・情報を的確に提供する
 - (2) 全ての県民が読書によって豊かで潤いのある生活を享受できるよう努める
- をサービスの基本目標とします。

3 基本目標を実現するために

「県民の仕事や生活に役立つ資料・情報を的確に提供する」を行うため、次のサービスを行います。

(1) 県民の生活や地域の経済活動に役立つ資料・情報を提供します

ビジネス情報コーナーにおいて事業経営や職業・資格に関する資料の提供に努めていますが、厳しい不況下、とりわけ困難な状況が続く失職者、非正規労働者のため、就労、資格取得、キャリア形成のために必要な資料・情報の提供に力を入れます。また、地域の経済活動を応援するため、科学技術関係資料、経営や様々な産業についての実務資料、地域の産業や市場に関する資料など経済活動に役立つ資料・情報の提供にも努めます。多文化サービスコーナーでは、日本語を学ぶために必要な資料などを中心に、在住外国人の方々の就労や生活に役立つ資料・情報の提供に努めます。

(2) 誰でもが資料探しや調べ物がスムーズにできるような環境を整備します

調べ方ガイドの作成に努めるとともに、資料の探し方を説明する利用講座や図書館探検ツアーなどを開催し、利用者が身近な課題を自律的に解決できるよう、調べるための環境の整備を行います。また、引き続き図書館の重要な仕事であるレファレンスの充実と周知に努めます。

「全ての県民が読書によって豊かで潤いのある生活を享受できるよう努める」ため、次のサービスを行います。

(3) 市町村立図書館と連携し、全ての県民への資料の提供に努めます

県図書館は、県内全域の県民に利用していただくことを目標としています。県図書館の所蔵する資料を市町村立図書館等のカウンターを経由して貸出す協力貸出は、直接来館できない県民の方への重要なサービスです。市町村立図書館と連携・協力しながら、協力貸出を知っていただくとともに、利用しやすい体制を作ります。

(4) 読書で県民生活が潤いあるものになるよう努めます

図書館は、読書の楽しみ、知ることの大切さを実感していただくことのできる場です。読書を通して県民の皆様が生活が潤いのあるものとなるよう努めます。特に、昨年「愛知県子ども読書活動推進計画（第二次）」が策定され、県図書館が行うべき方針が示されました。計画に示されている「県内図書館等の子どもへのサービスの総合的・効果的な援助を推進し、センター館としての役割を果たす」よう努めます。

(5) 図書館を知っていただくための事業を行います

展示、講演等事業の目的の一つとして、県図書館にこれまでいらっしゃることのなかった方々に図書館に足を運んでいただき、図書館の利用価値を知っていただくことがあります。図書館以外の様々な人々、組織、機関と連携した事業の開催は、従来の図書館利用層とは異なる層の人々においていただく機会ともなるため、共催や協力による企画事業を増やします。今年は、国民読書年であり、また、「あいちトリエンナーレ2010」「COP10」が開催されることから、これらに関連する展示や講演等の企画事業にも取り組み、より多くの方に図書館を訪れていただくよう努めます。

4 数値目標

目 的	事 項	平成21年度 実 績	平成22年度 目 標	前年比
資料・情報の提供	資料の個人利用点数 (貸出点数+閉架資料の利用点数)	66万9千点	68万9千点	103%
調べ物の支援	調べ方ガイドの配布枚数	1千3百枚	3千3百枚	250%
	レファレンス件数	3万9千件	4万件	103%
市町村立図書館 との連携	協力貸出冊数+県を経由した借受冊数	5万7千冊	6万冊	105%
図書館を知って いただく活動	展示会・講演等の回数(うち共催・協力回数)	41回(11回)	42回(12回)	103%(110%)
	入館者数	72万3千人	74万4千人	103%
全 般	アンケートにおける全般的な満足度	3.27ポイント	3.28ポイント	—